

達成状況評価書(平成25年度)

部局名: 医学部附属病院

項目	コメント
附属病院に関する項目 (大学の年度計画: 15~17)	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>(1) 教育・研究面 平成25年度は、大学病院として初めての創薬を加速する新しい技術であるPETマイクロドーズ試験の実施、医師主導治験2件を含む6件のトランスレーショナルリサーチの新たな開始、循環型の医師キャリア形成システム構築の着実な推進、ノンテクニカルスキルに関する教材を用いた教育の実施、種々の新教材開発による医療従事者の医療安全能力向上への貢献、看護実践能力を向上させるためのレベルや学習ニーズに応じたキャリア開発研修の実施などを行っており、大学の年度計画の達成に貢献している。</p> <p>(2) 診療面 平成25年度は、遠隔相談システムを用いて、人員が不足している他施設に対する高度な専門知識に基づく継続的な遠隔診療支援を行ったほか、消化器センターの設置による内科的・外科的治療をシームレスに実施できる体制の構築、病理診断科の設置による院内の病理診断の強化と他機関からの依頼による病理診断の実施体制構築など、積極的に取り組んでおり、大学の年度計画の達成に貢献している。 また、国内最多の症例数である22件の脳死・心停止下臓器移植を実施するほか、34例の生体臓器移植を実施するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>(3) 運営面 平成25年度は、再開発企画整備室を設置し、病院の施設整備に対する取組を推進するとともに、国際医療センターを設置し、外国からの患者受入や医療関係者の研修について、支援体制の整備等を開始するほか、病院長のリーダーシップの下、各診療科等に対し、病院長ヒアリングや現場のラウンドを実施し、現状及び今後の診療方針等を確認し、必要に応じて医療従事者の増員や診療機器の更新を行うなど、経営の安定化を図っており、大学の年度計画の達成に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p>